

【第1号議案】

一般社団法人 FEEL Do

2025 年度事業報告書

自 2025 年4月1日 ～ 至 2026 年3月31日

1. 事業の総括

2025 年度は、各府県の災害福祉支援ネットワークが取り組む災害派遣福祉チームの組成に向けた研修や、社会福祉法人における災害対策支援事業への協力依頼をいただき、順次実施することが出来ました。

福祉コミュニティづくりに向けた「FEEL Do フォーラム」を開催し、地域づくりやコミュニティづくりに携わる方々と情報を共有し、ネットワークを構築することが出来ました。

2. 事業の実施に関する事項

① 福祉コミュニティづくりに関する相談・支援事業

● 災害派遣福祉チーム養成事業

A) 主催：鳥取県、鳥取県社会福祉協議会 鳥取県災害福祉支援センター

☆ 鳥取県災害派遣福祉チーム 基礎研修

(1 回目 2025 年 6 月 25 日：栗原、2 回目 2025 年 11 月 8 日：栗原)

DWAT 活動や避難所で求められる支援活動などの基礎を学ぶとともに、より実践的な活動ができるよう演習等を行うことで、被災地支援に関わる運営支援者としての資質向上を図りました。

☆ 鳥取県災害派遣福祉チーム スキルアップ研修(2025 年 7 月 24 日：栗原)

DWAT が活動する際に、広い視点を持ち、支援を展開することができる人材を養成するために、具体的な活動や被災者に対するアセスメント、避難所の環境整備等を学ぶとともに、チーム員としての資質向上を図りました。

☆ 鳥取県災害派遣福祉チーム 先遣隊・コーディネーター研修

(2026 年 1 月 28 日：栗原・鳴海)

先遣隊メンバー及び本部機能を担う職員等が連携し、被災地の状況から DWAT 活動の見立てと関係者との連携が円滑にできるよう、先遣隊及びコーディネーター機能の強化を図り、DWAT チーム員が円滑に活動できる体制の強化を図りました。

B) 主催：滋賀県、滋賀県社会福祉協議会

☆ 滋賀県災害派遣福祉チーム 養成研修(2025 年 7 月 31 日：栗原・菅原)

高齢者・障害者・子どもなど災害時に福祉的な配慮や支援が必要となる方（要配慮者）の二次的な被害（状態の重度化、関連死など）を防ぎ、避難生活終了後、被災者が安定的な日常生活に円滑に移行できるよう、活動に必要な知識・技術を習得する研修を実施しました。

- ◇ 滋賀県災害派遣福祉チーム フォローアップ研修・在宅避難者支援訓練（2026年3月11日：栗原）

チーム員として登録している方を対象とし、ソーシャルサポートネットワークを担う支援者からその支援活動を学ぶとともに、被災地派遣を想定した避難所外の避難者に対する対応訓練を行い、支援の連携や課題について考える研修内容をしが DWAT フォローアップ研修等企画会議メンバー5名と共に企画立案し実施しました。

- C) 主催：沖縄県、沖縄県災害派遣福祉支援協議会、沖縄県社会福祉協議会、沖縄県社会福祉法人経営者協議会

- ◇ 沖縄県災害派遣福祉チーム 登録研修（2025年12月17日：栗原・宮道・菅原）

災害時における要配慮者支援体制を確保し・避難生活に伴って生ずる二次被害の発生を防止することを目的とする DWAT おきなわチーム員の、活動に必要な知識・技術を習得する新規登録者育成を目的とした研修を行いました。

- ◇ 沖縄県災害派遣福祉チーム スキルアップ研修（2025年12月18日：栗原・宮道・菅原）

DWAT おきなわチーム員登録者を対象に、厚生労働省のガイドライン等を参考にしながら、拡大された対象に対する具体的な支援活動を学ぶとともに、今後の実践に備えた知識・スキルの向上、登録者同士の意見交換を通じた交流を図ることを目的に実施しました。

主催：沖縄県社会福祉協議会

- ◇ 災害時の保健・医療・福祉支援活動の連携に向けた意見交換会（2025年12月19日：栗原・宮道・菅原）

DWAT おきなわの機能と役割について関係機関や他専門職派遣チームに理解をいただき、今後の保健・医療・福祉支援活動の連携推進に向けて協議することを目的に実施されました。

- 社会福祉法人における災害対策支援事業

- A) 主催：鳥取県社会福祉協議会

- ◇ 社協版BCP（業務継続計画）の策定支援事業（栗原）

社会福祉協議会向けのBCPの基本的な考え方や策定の必要性、意義について学び、緊急時においても、社協の規模に関わらず、社協活動を維持し、地域を支えられるよう、平時からいかに体制等を整えるのかを考える機会として市町村社協役職員を対象とした「鳥取県市町村社協 社協版BCP 策定基礎研修」の講師を務め、境港市社協のBCP策定に向けた

個別支援のアドバイザー業務を実施しました。

B) 主催：熊取町社会福祉協議会（大阪府）

☆ 令和7年度 福祉的事業継続計画策定アドバイザー業務（栞原）

社協が災害対策を推進することによって「災害時のセーフティネット機能を強化」と共に、「平時のセーフティネット機能の強化」との連続性を図れるように本事業実施に関する相談対応・計画立案へのアドバイスを実施しました。

C) 主催：箕面市社会福祉法人連絡会（大阪府）

☆ 防災講習会（2025年9月29日：栞原）

高齢・障がい・児童サービス利用者が、安心・安全・安住に暮らせる災害時のセーフティネット構築を目指すことを目的に、災害時を想定した継続的な取り組みとして、何が必要なのかの理解を深め、災害時に社会福祉施設として何ができるかを考える講習会を実施しました。

② 福祉コミュニティづくりに関する事業の企画・運営事業

- 全国民生委員児童委員連合会「災害に備える単位民児協・民生委員活動のチェックリスト」作成協力（栞原・篠原・宮道・菅原）

令和6年度に作成された『災害発生時・発災後における委員の支援・フォローの実施に向けた民児協組織の機能・役割』を活用し、実効性のある取り組みを検討いただくにあたり、まずは単位民児協の現状把握をスムーズに行っていただくためのツールとして本チェックリストの作成に協力しました。

- FEEL Do フォーラム 2024 スピンオフ企画の開催

2025年4月16日(水)に FEEL Do フォーラム 2024 の第2回スピンオフ企画を開催。フォーラムの実践報告内容について詳細を伺い、参加者間での情報・意見交換を通じて、更なる知見の深め合いとネットワーク形成をはかりました。

- FEEL Do フォーラムの開催

2025年10月20日(月)、FEEL Do フォーラム 2025「ともに考え、ともに創ろう、福祉コミュニティ」実践報告会をオンライン形式にて開催。全国各地の社会福祉協議会から17件のお申し込みをいただき、全国各地での取り組みを聞きながら、「福祉のコミュニティづくり」についてご参加の皆さんとともに考える機会となりました。

- 福祉コミュニティづくり活動支援助成金事業の実施

自組織や福祉コミュニティの形成・再生や災害にもつよい地域づくりを目指す取り組みを FEEL Do のメンバーが応援することで事業の活性化や求める成果を得るための一助とすることを目的に、活動助成事業を立ち上げ募集しました。ご応募いただいた中から、愛媛県社会福祉協議会「愛媛県災害福祉支援センターキックオフセミナー」を採択しました。

③ 福祉コミュニティづくりに関する情報の収集・提供事業

- 理事・社員・パートナーによる研さん・情報交換を目的に、2025 年 6 月 7 日～8 日に大阪市内で合宿を開催しました。
- 福祉コミュニティづくりに関する情報提供・ネットワーク構築を目的とした情報交換会を 4 回開催しました。(2025 年 4 月 29 日、2025 年 7 月 26 日、2025 年 8 月 14 日、2026 年 1 月 7 日)
- 当法人の活動について周知を図るためホームページの運用を行いました。
<https://www.feeldo.org/>

④ 福祉コミュニティづくりに関する調査・研究事業
未実施。

⑤ 福祉コミュニティづくりに関する出版・編集事業
災害派遣福祉チーム（DWAT）人材育成研修テキストを発行し、鳥取県・滋賀県・沖縄県・北海道の災害派遣福祉チーム養成で計 169 冊をご活用いただきました。

⑥ その他必要な事業

会務の運営にあたり、以下実施しました。

- 2025 年 5 月 12 日、2026 年 3 月 2 日に理事ミーティングを実施しました。
- 2025 年 6 月 7 日に社員総会を開催しました。